

授業科目名 ( 英文名 )	Writing 2 英語W 2 ( K 1 )	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・後期
担当教員	崎川 裕貴子	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	1) 日常的な社会活動において必要となる英語文を正しく書くことができる 2) 様々な場面における英文を書くための語彙や文法を習得している 3) 英文の文章構成法を理解し応用することができる		
講義内容・授業計画	英文のパラグラフ構造を習得し、パラグラフを効果的に構成する方法を学習し、正確に意見を表現できるスキルを向上させる。与えられた課題を着実にこなすことが求められる。  1 . Introduction (授業運営および成績評価について) 2 . Chapter 1: かくれた主語を見つけよう 3 . Chapter 1: 主語を変えて英文を考えることのメリット 4 . Chapter 2: まずは主語を決める 5 . Chapter 3: 能動態を使おう 6 . Chapter 4: 魔法の前置詞 7 . Chapter 5: 順番を考えて書く 8 . Chapter 6: 日本語の影響から自由に 9 . Chapter 7: 英語はポジティブにいこう 10 . Chapter 8: 具体的な言葉は伝わりやすい 11 . パラグラフの構造 12 . アウトラインの書き方 13 . パラグラフの結束性 14 . プロセス・ライティング 15 . 定義の仕方 定期試験		
テキスト	英語「なるほど！」ライティング - 通じる英文への15ステップ - (2007) 遠田和子、他、講談社		
参考文献			
成績評価の基準・方法	日常的な社会活動において必要となる英語文を正しく書くことが出来、英文の構成法を習得しているものに単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、S から C まで成績を与える。レポート・小テストなどによる平常点40%、試験60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	病気やけが等による欠席の際に証明書を提出する場合は、診断書(コピー可)を提出すること。  新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しない		
備考			